

元気企業 訪問

株式会社 ホリゾン

代表取締役社長

堀 英二郎さん

ほ り え い じ ろ う



「創れないものはない」無類の開発力で
世界進出拡大と発展を続ける
製本機器業界随一の技術者集団

自然豊かな滋賀県高島市。東京ドーム3個が収まる広大な土地に株式会社ホリゾンの本社・びわこ工場が広がる。青々とした緑と琵琶湖の風景が望める社屋では、同社が世界に誇る製本機とその周辺関連機器が、類稀な技術力によって日々生み出されている。「すべて自社で製造する」をモットーに、オンデマンド化が進む製本業界をリードし続けている。



本社びわこ工場航空画像

― 会社の沿革と事業内容は？ ―
ホリゾンは、私の父・堀八郎が1946年に創業した太陽電機研究所に始まります。電気機器の試作・修理を請け負う会社でしたが、国による理科振興の方針にに応じて理科の実験機器を製作するようになりました。やがて市場規模の限界を感じ、世の中の動きに関して常に先見の明があった父は、「次に何が必要とされるか」を探し、「自社開発すべきである」との志をもって、欧州へ市場調査の旅に出ました。そして「誰でも使える簡単な」製本機の需要を確認し、1973年、最初の卓上製本機



創業当初の理科の実験機器



この4月には京都に新たな拠点が完成し、国内外からのお客様を迎えている

上を伸ばしました。本来は印刷・製本業界の中に販路があったのですが、当時の印刷・製本業界では熟練の職人さんが扱った大型の専門的な機械ばかりでした。私たちの「誰でも使える簡単な」機械が、印刷・製本業界内でも活躍できると気づいたのは約5年後のことです。綴じるだけでなく紙折り・丁合・断裁なども機械化する必要があることがわかり、これらの周辺機器も自社開発を進め、全て自社で内製することを方針に、製本機器の総合メーカー・株式会社ホリゾンとして知られるようになりました。

― 120か国に販売網を展開するに至った経緯は？ ―
欧米は印刷・製本の先進地域ですから、競合企業がひしめいています。しかし我々が得意とした

※2 成長型中小企業等研究開発支援事業(GO-Tech事業)
中小企業等が大学、公設試等の研究機関等と連携して行う、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けた研究開発及び事業化に向けた取組を一貫して支援する。

※3 AI・IoT導入促進補助金
生産性向上のためにAI・IoTを活用した仕組みを構築し、経営の改善につなげる取り組みを実施する経費を一部補助する。



女性オペレーターも世界へ(2023年スイスでの展示会)

する印刷の後加工^{あと}、紙折り・丁合・製本・綴じ・断裁すべてを自社で展開しているメーカーは他になく、各国の展示会や見本市で商品をアピールして回ると必ず手応えがありました。私は当時、海外進出を担当する販売会社ホリゾン・インターナショナルを任されていて、海外で動ける人材の育成に精魂を傾けました。社員が育ってくれたおかげで、各国の信頼できる企業人と出会い、販売網を広げることができたと思っています。

単に使えることを目指したものでした。現在は、多品種少量生産が進む印刷・出版・製本の業界でホリゾン製品が活躍しており、たった1冊のオンデマンド製本や少部数の自費出版など、趣味的な本の制作を請け負う現場で重宝されています。機械が到着したその日から誰でも扱って作業ができる。職人技の継承問題や人手不足に頭を抱える企業で喜ばれるゆえんです。

また、当社は経済産業省の「^{※1}2020年版グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。「ニッチ」とは隙間、つまり見逃されやすい事業領域のことですが、そうしたニッチ分野で勝ち抜き重要な役割を果たす優良企業だと認定されたわけですから、たいへん誇りに思っています。

― グローバルニッチトップ企業100選 ―
グローバル市場で隙間産業と呼ばれるニッチ分野で高い競争力を持ち、サプライチェーンにおいて重要性が高まっている部品や素材に関する事業を有する企業を経済産業省が選定する。

― 顧客から評価されている点は？ ―
ホリゾン製品は、シンプルで使いやすい作業性の高さが非常に評価されています。最初に開発した卓上製本機も、専門知識や技術を持たない一般の人が簡

― 産業支援プラザとの関わりは？ ―
印刷・製本業界では多品種小ロット化が進むことで、いかに合理的に生産性を上げるかがシ



ショールームでは最新の後加工ラインを展示

ビアに問われています。
その中で、従来の方式を革新する新技術の開発に挑み続けるのがホリゾンです。新技術の開発は業界の発展にも貢献することができま。革新的な開発のために県の工業技術総合センターとの連携に活路を求め、**成長型中小企業等研究開発支援事業(GO・Tech事業)**への申請に至りました。これまで様々なものを自社開発してきたホリゾンにとって連携による開発は初の経験であり、また研究開発に対する補助金申請も初めてでし

た。産業支援プラザからのアドバイスが功を奏して採択され、今まさに研究開発が進んでいます。
一方、2021年度には産業支援プラザの「^{※3}AI・IoT導入促進補助金」に採択され、「IoTによる設備・工場のエネルギー管理の見える化と合理化」に取り組みしました。それまでは工場全体の消費電力しか把握できなかったのが、設備別の電力管理まで可能となり、省エネはもちろん、社員の働きかたの工夫など、合理化への道筋が見えています。

― 「元気企業」の秘訣は？ ―
働く元気の源は食べることに。美味しく栄養のあるものを食べ、リラックスできる環境がある。これは先代社長である父の教えで、これらを社員に提供することを強く望んでいました。2020年に完成したびわこ工場の新社屋には、最も見晴らし

<PROFILE>
株式会社ホリゾン
■代表者／代表取締役社長 堀 英二郎
■従業員／グループ国内585名(グループ総数651名)
■所在地／(本社びわこ工場)滋賀県高島市新旭町旭1600
■創 業／1946年
■事業内容／製本関連機械(商業印刷用・オフィス用)、特殊印刷機の開発・製造・販売、アウトドア機器の開発・製造・販売
■TEL／0740-25-4567(代)
■URL／<https://www.horizon.co.jp>

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 イノベーション推進課
☎ 077-511-1414 ☎ 077-511-1418 ✉ ino@shigaplaza.or.jp